



賠償ノ關係デ、第一ニ賠償物件ヲ解體シ輸送スル費用ガ是ハ別ニ責任アルモノデアリマセヌガ、商工省ノ當局ガ事務的ニ計算シテ百億圓ニナルト云フ計算モ出テ居ルノデアリマス、之ヲドウスルカ、「ジ一・エツチ・キユウ」ノ關係ガアリマシテ、向エトモ多少ノ連絡ヲシテ居ルノデアリマスカラ、向フデモ頻リニ研究シテ居リマス、ソレデ以テ日本ノ財政ニ非常ナ負擔ヲ掛ケルヤニ失業者ガ起ルヤウナコトハシタクナイト云フヤウナ方向デ研究ヲ進メテ居ルヤウデアリマス、心配ナハ其ノ邊デアリマスガ、是ハ是カラノ政治交渉ナ隸デアリマスガ、是非何トカ話合ヲ付ケタイト考ヘテ居リマス

○小山完吾君 私ハ今日ハ大變御忙シイ、時間モ切リ詰ツテ居リマスノデ、其ノ位デ次ノドナタカ御質問ニ……

○黒田英雄君 私ハ大藏大臣ニ「三御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、其ノ第一ハ増税案ハ要綱ヲ拜見致シマスレバ、國庫ノ收入ノ増加ヲ圖ルトカラ色々アリマスガ、此ノ金額ハ平年度ニ於テ三十七億圓デアリマシテ、此ノ收入ヲ増加ニナツテ居リマスガ、増税案ヲ立テラレル時ニ於テドレダケノ歳入ヲ得ヨウト云フ目標ヲ以テ増税案ヲ拵ヘラレタモノデアリマスカ、或ハ色々經濟界ノ情況トカ、物價ノ騰貴トカ、或ハ負擔ノ衡衝ト云フヤウナコトヲ考ヘテヤツテ斯ウ云フ金額ニナツタト云フノデアリマセウカ、其ノ點デアリマスガ、詰リソレハ昨日主税局長ノ御答辯ノ中ニアツカト思ヒマスガ、尙今日ニ於テモ負擔能力ハ相當アル、マダ餘力ガアルト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマセウカ、詰リ國民ノ所得

ヒマスガ、強イテソレハ御尋ヲシマセバ  
ケレドモ、大體サウ云ノヤウナ目標  
ニ置イテドレダケノマダ相當餘裕ガアル  
モノデアルカト云フ考デ、本年度ニ於  
テハ差當リ是ダケノ増税ヲスルト云  
フ御考デアルカ否ヤ、ソレカラ尙引續  
ニ置イテドレダケノマダ相當餘裕ガアル  
モノデアルカト思ノンデスガ、更ニ税制  
ノ根本的改正ヲシヨウト云フ御計画ノ範  
ヤウデアリマスルガ、是ハ税制法ノ適  
正化ヲ圖ルト云フコトガ目的デアルノ  
デアリマスルカ、矢張り財政ノ基礎ヲ  
鞏固ニスル爲ニ相當増税ヲシヨウト云  
フ御考デ、増税ヲスルノニハ、矢張り  
税制ヲ根本的ニ變へテ行カケレバ  
益々負擔ノ均衡ヲ失ツテ來ルカラ、根  
本的ニ後ニ變ヘテヤラウト云フヤウナ  
御考ヲ以テノ根本的ノ改正ト云フコト  
ヲ考ヘラレテ居ラレルノデアリマスル  
カ、先づ差當リ其ノ點ヲ伺ヒタイトと思  
ヒマズ

コトデ研究ヲ進メテ居リマシタ、デマ  
ア今年トシテハマダ～改正ヲシナケ  
レバナラヌ、例ヘバ物品税デアリマス  
トカ云フヤウナモノニ付テ改正ヲシナ  
ケレバナラヌノデアリマスケレドモ、  
今ノ財産税ノ問題モ決ラナイシ、斯ウ  
云フ關係デサツ云フヤウナ改正ハ是非  
共必要ダト認メラル、小部分ニ止メマ  
シテ、大體現行ノ税制其ノ儘デ國民ニ  
ドレダケノ負擔ガシテ費ヘルカト云フ  
見當デ案ヲ建チマンタ、今後ノ問題ハ  
財産税ヲ何レ近イ中ニ決定ヲ致シテ御  
審議ヲ願フコトニナリマスガ、其ノ財  
産税ノ關係カラ申シマシテ、相當高額  
ノ資産ヲ持ツテ居ル人達ノ資産ハ大分  
減リマスカラ、サウ云フ方面ノ負擔能  
力ハ今迄ヨリモグット減リマスケレド  
モ、併シ下ノ方ノ財産税ハ前ノ幾種ヨ  
リモ非常ニ切上ゲラマスノデ、小額  
ノ資産者ニハ餘り財産税ノ負擔方課カ  
ラナイヤウニナリマスカラ、日本ノ實  
情カラ申シマシテ、國民ノ稅ノ負擔能  
力ハ將來ニ相當殘サレテ居ルト、斯ウ  
云フヤウニ劣ヘテ居リマス、此ノ議會  
ガ終リマシテ、或ハ中途デモ税制ノ改  
正ヲヤリタイト政府デモ案ヲ立ツツ、  
アル譯デアリマスガ、只今私ノ考ヘテ  
居リマスノハ、根本的ト申シマスケレ  
ドモ、現在ノ所得稅中心ノ稅制ハ根本  
的ニ變ヘル餘地ハ恐ラクナイダラウト  
自分ハ考ヘテ居リマス、戰時中ニ色々  
ヤリマシタ點ニ付テ、物品稅其ノ外ノ  
モノニ付テ改正ヲスル、サウシテ直接  
稅ト間接稅トノ均衡ヲ得シメル尙國  
民ノ今迄ト變ツタ負擔能力ヲ見定メ  
シカ、若シ増稅方出來ルナラバソレヲ  
検討シテ見ダイ、斯ウ云フヤウニ考ヘ  
テ居リマス

ノ負擔能力ハヤダ相當アルト云フ國ニ御考ニナツテ居ルヤウデアリマス、此ノ初年度ノ改正案ニ依リマンシテノ増税額ハ二十三億餘萬圓ニ相成シテ居ルヤウデアリマス、サウシテ來年度度、平年度トシテ三十七億餘萬圓ト云フヤウナ見積リデ居ルヤウデアリマスガ、此ノ點ハ豫算總會カ或ハ分科會アリタルヤウデアリマス、サウシテ來年度タリデ御考ヲシタ方ガ宜イカモ知レマヌガ、是ハドウ云フ御考ニ基イテ居モノノデアルカ、詰リ本年度ノ現實ノ實相カラ、税率ノ變更ニ依ツテ率ヲ定メテ居ルノダト思ヒマスガ、來年度付キマシテハ、本年度ニ財產稅ノ徵收ガアルト云フコトニナリマスルシ、ソレカラ色々ナ補償打切トカ、其ノ他ニ依テ事業ノ變更モアルノデスガ、ソレ等モ十分御考ニナリマシテ、見積リ立テラレテ居ルモノノダラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ハドウ云フ風ナ御考ノ下ニ、諸リ經濟界ガ本年ト同シヤウニ行ツテ色々ナ收入、收益等モ大體同じヤウニ上ツテ行クト云フ御考ヘデアリマスカ、或ハソレガドウ云フ變化ヲスカト云フヤウナ御考ヘデイラッシャマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○黒田英雄君 ソレデハ財産税ノ關係  
ニ於キマシテハ、財產税ガ徵收サレテ  
モ、來年度ノ所得收益ニハ變化ガナ  
ト云フ風ナ御考デアリマスカ  
○國務大臣(石橋湛山君) 財產税ヘ先  
程申シマシタヤウニマ内容ヲ申上ゲ  
ル段階ニナツテ居ラナイヤウデアリマ  
スガ、比較的前ノ豫想ヨリハ少ク、サ  
ウシテ高額ナ財產者ノミニ掛カルヤウ  
ナコトニナルト考ヘテ居リマス、デア  
リマスカラ其ノ方面カラノ平時ノ收入  
ハ減ルト見ナケレバナラヌノデアリマ  
スガ、日本ノ所得ノ分布カラ見マシ  
テ、比較的少額ノ所得者ガ多イシ、又  
其ノ方面ニハ是カラ公共事業其ノ他ノ  
政府事業ニ依リマシテモ收入ガアリマ  
スノデ、ソレカラ會社ノ方面ニモ先程  
申シマシタヤウニ整理ハアルノデアリ  
マスケレドモ、一方ニ於テハ仕事ガヤ  
ツテ行ケル、斯ウ云フ見當デアリマス  
カラ、平時ノ稅收入モ今日考ヘテ居ル  
現在ノ増稅程度ニハ無論堪ヘテ行クモ  
ノト思ツテ居リマス  
○黒田英雄君 此ノ點ノ御考ハ分リマ  
シタガ、モウツキヒタイノハ、是ハ  
申上ゲル迄モナク、現行ノ稅制ノ主體  
ハ所得稅ヲ中心ニ徵稅ヲスルヤウニナ  
シテ居リマス、其ノ所得稅ニ於キマシ  
テハ各人ノ所得ト云フモノヲ結合シ  
テ、サウシテ各人ノ擔稅能力ト云フモ  
ノヲ計リ、ソレニ適應スル課稅ヲシヨ  
ウト云フ建前ニ行ツテ居ルノダ、誠ニ

私其ノ通りト思フノデアリヤスガ、是ハ或ヘ内務大臣ニ伺ツタ方ガ宣イカモ知レマセヌガ、今度ノ地方税ノ改正ヲ分増シテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ上ニ最高ノ制限二千圓ト云フモノガ撤廢サレテ居ルヤウデアリマス、サウナツテ來ルト總額ト云フモノハ動力ナイノデアリマスケレドモ、其ノ中デ以テ個々人ニ課税サレルモノハ地方デ以テ色々ツテ來ル、サウスルト市町村民税ト云フモノガ相當重ク課ケラレルモノガ、出來テ來ル、サウナツテ來ルト、折角國ガ綜合シテ、サウンテ擔稅力ヲ見テ居ルモノガ、地方ノ稅ニ依ツテソレガ變サレルト云フ結果ヲ來ス、場合ニ依レバ或ハ所得稅以上ノ負擔ヲシナケレバナラヌト云フモノガ生ジテ來ル危險ガアリハシナイカト云フコトヲ恐レル、斯ウ云フモノハ國稅ノ方デ以テ寧ロ統合シテ負擔力ニ益ズル課稅ヲスルコトガ宜ノデヤナイカト思アノデアリマスケレドモ、兎ニ角今度ノ改正案ニ依リマシテ、サウ云フ弊害ヲ生ジナイヤウニ大減省ノ立場トシテハドウ云フ御考ヲ以テ見、ドウ云フ處置ヲ御執リニナル御考デアリマスカ、其ノ邊ノコトヲ伺ヒマス、政府委員デモ宜シウゴザイヤス

○政府委員 池田勇人君) 今回地方稅デアリマスル市町村民稅ヲ増徵シ、又府縣民稅ヲ創設致シマシテ、從來ノ市町村民稅ノ大體十倍程度ノ增收ヲ圖ルコトニ致シマシタ、從ツテ今迄ハ人稅ハ殆ド國稅ヲ以テ徵ツテシマフ、ソレヲ各地方ニ分ケテシマフト云フ風ニ建テ方ガ或程度變ツテ來マシタ、或程度

變ツテ來マシタガ、併シ地方ノ財源カラ申シマスト、矢張リ十數億圓近クノ市町村民稅等ヲ徵收スル必要ガアリマスノデ、今回徵徵スルコトニ致シタノアリマス、從ヒマシテ増徵シ、而モ六大城市デハ最高二千圓、其ノ他デハ五百圓ト云フ額ヲ今回取ツテシマシテハ、府縣民稅、市町村民稅ガ多額ニナリ、國稅ヲ超過スル可能性ハナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、此ノ點ハ内務省デモ、大藏省デモ所得稅ヲ超ユルト云フコトハ絕對ニナイヤウニ十分各府縣廳ヲ指導シタトイマス、御話ノ如ク最高中制限ヲ置カ、置カナイカト云フコトニ付キマスルテ十分研究致シタノデゴザイマスルガ、平均ノ徵收額ヲ十倍、或ハ十數倍ニ致シマシタ關係上、此ノ最高ノ制限額ヲ十倍、或ハ十數倍ニ致シマスト、非常ニ高クナツテ参リマス、サウシマースト、却テ制限ヲ置カナイデ、國稅ノ税率、所得ヲ頭ニ入レテ、各地方々々ノ負擔力ニ副ツタヤウナ府縣民稅、市町村民稅ノ課稅ヲシタ方ガ實際ニ合ノデハナイカト云フコトニ内務省、大藏省ノ考ガ極リマシテ、實際ノ課稅方リマシテハ十分負擔ガ酷ニナラナイヤウニ指導致シテ行ク考デアリマス○黒田英雄君　此ノ點ハ分リマシタ、私ノ質問ハ此ノ位デ止メテ置キマス○委員長(男爵周布魯道君)　松平男爵モ質問ガ御アリマシテ、今年ハ所得稅中心ニ大幅ノ増稅ヲスルト云フ御話デアリテ、如何デゴザイマスカ、此ノ際○男爵松平外興齊君　只今大藏大臣ノ御話ニ依リマシテ、今年ハ所得稅中心スガ、大藏大臣ガイラツシヤイマスカラ、如何デゴザイマスカ、私ノ心配スルノハ、マシタノデスガ、

黒田委員カラノ御心配モザイマシタ  
ガ、現在ノ經濟狀態カラ見テモ、戦後  
ノ處理按配ノ上ニ於テ、果シテ難算額  
ト云フモノガ、現在ヨリ減リハスルケ  
レドモ、殖エルコトハナイ、例へバ本  
年ハ五百億ダ、是し以上突破スルコト  
ハナイ、寧ロ漸次低下スル位ヂヤナイ  
カト云フ御話ヲ承ツタノデアリマス  
ガ、果シテ御考通りニ、此ノ豫算額ト  
云フモノガ、是レ以上ラヌモノデア  
リマセウカ、私ノ考ニ依リマスト先程  
モ御話ガゴザイマシタガ、賠償額ニ依  
リマスト、可ナリ大キイ金額ニ上リ得  
ルコトモ、想像出來ルノデアリマス、  
サウシマスト、所謂收入ノ財源カラ見  
マシテ、或ハ更ニ所得稅ノ増額デアル  
トカ、或ハ其ノ他ノ國稅ノ増額ト云フ  
モノヲ矢繕ギ早ニ行ハナケレバナラヌ  
ト云フ事態ガ生ジナイトモ限ラナイト  
思フノデアリマスガ、現在ノ見透シデ  
ハ、此處暫クノ間ハ此ノ程度デ止メテ  
置ク、暫クノ間ハ増税スル心配ハナイ  
ト云フ御信念ガ御アリニナリマスカ、  
先づ大臣ニ此ノ點ヲ伺ヒタイトと思ヒ  
マス

シ、又ハ交渉シ直シヲシカツタノデアリマス、今年ノ處暑ヘラナイ限りデハナイト云フ向ノ認識デアリマスノデ、交渉ノ餘地ハアルガ、是ハ必ズヤラナケレバナラムト云フコトハ覺悟ガニシテ居リマス、歳出ノ方ハ無論今年程ス、ソレカラ同時ニ今年ハ財産税ガニル譯デアリマスガ、ソレガナクナル譯デアリマスカラ、來年カラ支出ノ情勢ニ依リマシテハ絶對ニ増稅ヲシナイト云フコトハ申上ゲ兼ネル譯デアリマスガ、出來ルダケ負擔ヲ減ラス方へ持ツテ行ツテ處理シタイト云フ希望デアリマス、何シロ斯ウ云フノハ非常ニ變態的ナ財政デアリマスカラ、必ズヤ此ノ増稅ヲシナイトモ確言ハ出來ナイ譯デアリマス、其ノ點ハ稅制ヲ十分檢討致シマシテ、サウシテ今デモ相當ニ負擔能力アル所モアルデヤナイカト云フ問題モアル譯デアリマスガ、サウ云フ點ニ考慮ヲ致シテ見タイト恩ヒマス○男爵松平外興君 ソレカラ此ノ分類所得稅ト綜合所得稅デアリマスガ、是ハ私自身ノ考デ多少間違シテ居ル力モ知レマセヌガ、二重課稅ノヤウナ感ジガスルノデアリマスガ、此ノ二重課稅ノ性質ヲ持ツテ居ルモノニアリマセウカドウカト云フコトガ一ツト、ソレカラ今度ハ大幅ニ分類所得稅ノ範囲ヲ擴大サレマシタガ、是ハ事情已ムラ得ナリマシテモ、外ニ比べマシテ比較的ニ増加率ガキツイノデヤナイカ、例ヘソレハ所得ニ合算スルカラ矢張リ相當大キイ類ニナル、從來二百圓貰ツテ居

ツタ者ガ千圓ニナレバ、一躍千圓ニナ  
ルト云フコトニナリマスト、「バーセン  
ティジ」ハ少ノイナデアリマスガ、實質  
的ニ見ルト云フト、勤勞所得階級者  
ノ負担歩合ト云フモノハ強クナシタノ  
デヤナイカト思フノデアリマスガ、如  
何デゴザイマスカ

○國務大臣(石橋湛山君) 分類所得稅  
ト綜合所得稅ト二重チャナナイカト云フ  
コトガ前カラ話ガ出ルノデゴザイマス  
ガ、是ハ二重チャアリマセ、分類所  
得稅ヲ課サレルノハ所得デアリマシ  
テ、其ノ初リノ所得ニ、大體源泉地以  
テ分類所得稅ヲ課ス、其ノ所得其ノモ  
ノガ何ト申シマスカ、其ノ課稅サレタ  
元方所得ニナルノデアリマスカラ、ソ  
レフ今度綜合シテ課稅スルノデ別段二  
重ニナルノデヤナインデス、サウ云フ  
仕方ガ誤解ガアルモノデスカラ、若シ此  
ノ分類所得稅ヲ取ツテ拂ツタダケヲ除  
イテ綜合ニスルト云フコトニナレバ、  
今後ハ稅率ヲ上げルコトニナル譯デア  
リマシテ、同ジコトニナツテ行クト云  
フ風ニ前カラ説明シテ居ル譯デアリマ  
ス、ソレカラチヨツト説明ノ仕方ガ悪  
イノデアリマスガ、尙専門的ナ説明ハ  
政府委員カラサセテモ宜イト思ヒマ  
ス、二重デハゴザイマセヌ、ソレカラ  
此ノ綜合所得稅ハ、今度ハ稅率ヲ上げ  
マシタガ、併シナガラ實際ニ勤勞所得  
ノ二萬圓以下ノ者ハ、尤モ是ハ此ノ春  
ノ基礎控除等、此ノ扶養家族ノ控除等  
所得者ハ、是ハ獨身者デアルトカ、扶  
養家族ノアル者ニ依ヅテ多少違ヒマス  
ガ、何レニシテモ實際ノ納稅額ハ減ル  
譯デアリマス、デアリマスカラ如何ニ

一部 分ヲ 所得税ニ 取ラ レマスカラ、其ノ中ノ  
エタダケガ 實收ニナリマセヌカラ、非  
常ニ詰ラナイト云フ感ジモ與、ヘレマ  
スケレドモ、二十年度ト比較スレバ減  
ツテ居ル譯デアリマス、給料ヲ上ゲラ  
レタダケハ 稅ヘ取ラマスケレドモ、  
ソレダケハシテ全部ガ取ラレル譯デハ  
アリマセヌカラ、矢張リ上ゲラレタダ  
サノ效能ハアル譯デアリマス  
○男爵松平外興齋君 最後ニモウ一ツ  
御伺ヒ致シタインデアリマスガ、現在  
地方税ノ財源ニナツテ居リマス地租、  
家屋税、營業税ノ問題デアリマスガ、  
是ハ多年間題ニナツテ居リマシテ、地  
租委譲トカ何トカ地方デ問題ニナリマ  
スガ、現在ノ狀況カラ見マシテモ、之  
ヲ地方税ニ委譲スルト云フコトハ絶對  
ニ困難ナ御事情ガアリマセウカ、又稅  
制ノ系統上カラ殆ドサウ云フコトハ不  
可能デアリマセウカ、名前ハ國稅デ取  
リマシテ、現實バ其ノ體地方ニ戻スト  
云フノデスカラ、結局國ガソレダケノ  
手間ヲ爲サル譯デ、サウシテソレヲ國  
ノ費用ニ使ハヌデ、全部今迄通り地方  
ノ分與稅ノ財源ニ戻スナラバ、形式ノ  
問題ヲ變ヘルダケデ、結局地方稅ニシ  
テモ、結果カラ見レバ同ジト、斯ウ素  
人ノ考カズ知レマセヌガ思ハレル、サ  
ウ云フ點カラ考ヘテ、將來地方稅制ノ  
確立ト云フ點カラ考ヘマシテモ、現在  
ノ地方稅ノ如ク獨立稅トシテハ餘り  
有力ナ財源ガナイヤウデスカラ大部分  
ハ分與稅ニ負ヒカブサツテ居ルト云フ  
状況デ、先程黒田サンノ仰シヤツタ通  
リ本年府縣民稅、市町村民稅ガ出来マ  
シタニ致ジマシテモ、矢張リ三稅ガ相  
當大キイ財源ニナツテ居リマスカラ、  
若シ其ノ實際上、取扱上、理論上ニ於

キャシテ、不可能事ナインラバ、モニ  
時期ニ於テ之ヲ地方税ト云フコトニ  
換スルト云フコトガ出来マセヌモノニ  
セウカ、一應参考ニ承ツテ覽キタイ  
思ヒマス

○大藏大臣(石橋湛山君) 地租ハ前ニ  
地租委譲論ガ盛ンデアリマシテ、地租ト  
ト云フモノノ特別ノ性質上、ドウモモ  
方へ委譲スルノハ困ルト云フヤウナ事  
論ガアリマシテ、サウシテ多分其ノ中ニ  
ヲ取ツテ國ニ徵稅シテ、實際ノ收入ハ  
地方へ還元スルト云フヤウナコトニナ  
ツタト歴史的ニ思フノデアリマス、ソ  
レカラ家屋稅、營業稅等モ、家屋稅ハ  
元々地方稅デアリマシタガ、ソレヲ  
ジャウニヤツタノデスガ、は六地方毎  
ニ非常ニ負擔ガ違フカラ、モット公平ニ  
ニシナケレバナラヌト云フ議論カラ  
テ來タ思ヒマス、營業稅モ亦同様ノ狀  
恩ヒマス、デスカラ是ハ決シテ地方ニ  
委譲出來ナイモノデハナイト思ヒ  
ス、今後ノ日本ノ地方自治ノ發達ノ狀  
況ニ於キマシテハ、無論地方へ委譲シ  
テ差支ナモノト考ヘテ居リマス

○委員長(男爵周布兼道君) 松尾君ニ  
御了解ヲ求メタイト思ヒマス、先程御  
平男爵ニ御質問ヲ許シマス際ニ御發言  
デゴザイマシタガ、私ノ申上<sup>シ</sup>ガ方  
ハ不足デアツタカモ知レマセヌ、同様  
シタト言フヤウナ事情ニゴザイマシタ  
クハ、昨日大藏大臣御出席ノ際ニ質問  
ヲシタイト云フ御希望ガ出テ居リマ  
タ、尙ホ重キテ先程御發言モゴザイ  
リマス、其ノ事情ヲ御了承願ヒマス、  
モエライコトデアル、サウ云フヨ

○松尾國松君 私一ツ御倒ヒシタ  
ガ、大體處ハ所得稅モニ地方稅ノ増  
メモエライコトデアル、サウ云フヨ

ハ色々々申シマセヌガ、ナカ～エラ  
ニコトアアル、殊ニ二十年度ノ所謂所  
得収益ニ付テ課セラレルト云フコトハ  
申ス迄モナク、其ノ課セラレル年ニ更  
ニ繼續のニアレバ宜イガ、無イ場合ニ  
於テハ相當ニ困難アリマス、ソレニ  
付テ著シイ場合ニハ色々例モアルケレ  
ドモ、要スルニ是ハナカ～エライト  
存ジマスガ、併シソレヲ今ドウスルカ  
ト云フ點モ片一方ニ異ルシ、ドウモ已  
ムヲ得ヌト私ハ存ズルノデアリマス、  
處デ大藏大臣ノ業議院ニ於ケル、其ノ  
他我々ガ承ツテモ、「インフレ」防止ハ  
一画ニ於テハ金融ノ措置ト、尙ソレノ  
實質的對策トシテハ生産増強ニアル、  
斯ウ云フ御意見ノヤウニ承ツテ居リマ  
ス、又私共モサウデナケレバナラスト  
存ジマスガ、ソレニ付テハ世間デハ石  
橋財政ニ付チノ論議モ行ハレテ居ルコ  
トハ御承知ノ通りデアリマス、併シ私  
ハ來年度ノ預算編成ニ付テハ今年以上  
ニ困難デアル、大藏當局ノ苦心ハ今ヨ  
リ御察シスル、先程モ相當ニ減額ガア  
リマシタ御話デアリマシタガ、左様希  
望スル者デアルガ、容易ニ來ナイト、本  
負ハサウ云フ風ニ考ヘチ居ル者デアリ  
マス、サウ云フ考ヘ方ノ下ニ於テ、所  
謂現在政府ノ財政ノ成功ヲ立テネバナ  
ラヌ、私ハ大體政府ノ財政ト云フモノ  
ハ、増稅案ヲ出セバ、増稅ヲ徵收スル  
責任モアリ、其ノ徵收シタ結果ニ於テ  
國民ノ經濟、財政モ亦預期以上ニ惡ク  
ナラヌト云フコトワ前提トスルモノデ  
アルカラ、政府ノ財政ト云フモノハ是  
非共成功ヲ立テネバナラヌト存ジマス  
ガ、ソレハ色々々意見アリマス、我  
意見ガアツテモ、此ノ增稅ヲ提案サレ  
テ、增稅ヲ協賛シタ以上ハ、其ノ財政

ガ成功シテ、容易ニ之ヲ徵收シ得ルト  
云フ、又國民モ負擔能力ニ應シタモノ  
デアルト云フ氣持チ出サネバナラスト  
云フコトハ申ス迄モナイ譯デアリマ  
ス、故ニ政治論色々ハ別トシマシテ、  
是非現在ノ政府ノ財政政策ヲ成功セシ  
メヌベ我方國ノ再建ニハ非常ナル困難  
ヲ來スモノデアルト云フコトヲ思クテ  
居ル者デアリマスガ、サウスレバ現在  
ノ石橋財政ノ一ツ「インフレ」ニ對ス  
ル所ノ根幹ト申スカ、要因ト申スカハ  
生産ノ増強ニアリ、斯ウ云フコトニ私  
ハ考ヘル者デアリマス、ソレニ付テ此  
ノ增稅案ヲ出しシ得ルト云フコトハ、ド  
ウ云フコト方出シ得ルカ、出的能力ガ  
アルカ、撥稅能力ガアルカト言ヘバ、  
生産增加ヨリ外ニナイト思フ、誰ガド  
ンナ當識論モ何デモ之ヲ樂ニ出シ得  
ルト云フコトハ生産増強ヨリ外ニナ  
イ、斯ウ存ズル者デアリマス、ソレニ  
付テ大藏大臣ハ此ノ提案ニ付テ幾多ノ  
御説明ガアリ、其ノ通りニ私共ハ成功  
シテ貰ハネバナラズシ、成功サセネバ  
ナラズスト、少タトモ松尾ニハ其ノ一部  
ノ責任ヲ持ツテ居ル者ト考ヘルノデア  
リマスガ、サウスレバ大藏大臣ノ考ヘ  
テ居ラル、生産ト云フモノヲ如何ニシ  
テ可能ナラシムルカ、斯ウ云フ問題ニ  
ナルノデアリマス、是ハ本案ノ、困難  
デアルケレドモ、負擔ヲスル、協賀ヲ  
スルト云フナラバ、其ノ大藏大臣ノ考  
ヘル、斯ウ云フコトニ歸スルト存ジマ  
ス、ソレデアルカラ其ノ生産ニ付テ、  
現在ニ於テ我々ガ實際ノ方面カラ考ヘ  
テ見ルト、果シテ生産ヲアナタノ言ハ

レルヤウニ政府ハ全ク可能ナ状態ニ置  
イテ居ルカドウカ、斯ウ云フコトヲ私  
ハ一言申シタイト思ヒマス、ソレハ一  
ツノ物ヲ造ルト、假ニ今後ニ於ケル賠  
償ヤ其他色々アルテアリマセウ、此  
處デ御話ヲ聽イタリ申タリ、遠慮ス  
ルコトガ相當ニアルト存ジマス、其ノ  
影響ハ全部生産ニ及ンデ來ルト、斯ウ  
考ヘマス、ソレヲ考ヘル時ニハ何デモ  
カンドモ生産ト云フモノヲモソト政府  
ガ理應シ、同情シ、サウシテ技術方面  
ニモ注意シテ、其ノ生産ヲ容易ナラシ  
メ、可能ナラシムルト云フコトニシナ  
ケレバナラヌ、處ガ本員ガ眺メテ見テ  
居ル處デハ遺憾ナガラソレニ適ナ状態  
ニアルノデアリマス、例へバ肥料ヲ作  
ル、斯ウ云フコトヲ言フト商工省ノ工  
務局長ガ主管デアル、又其ノ外ノ關係  
ニ於テ商務局モ關係スル、ソレカラ農  
林省ニ行ケバ農政局モ關係スル、肥料  
ノ方ノ關係ノ方モ關係スル、金融方面  
デハ大藏省ガ關係スル、此ノ頃ハ經濟  
安定本部ガ關係スル、何處へ行ツテ宣  
イカ分ラナイ、現在松尾ガヤツテ見テ  
一ツ／＼事實ヲ話セト言フナラ幾ラデ  
モ話シマスガ、サウ云フコトハ時間ノ  
關係上考慮シマスガ、何故私ガ斯ウ云  
フ詳シヨコトワ申上ゲルカト云フト、  
大臣ハ御承知デ、話ニ聞イテ尤モヂヤ  
ト言ハレルカ、言ハレナイカ知ラヌ  
ガ、ソンナコトガアルトカナイトカ言フ  
カ知ラヌガ、實際ニナルトドウニモナ  
ラスト云フ譯デ、石炭ノ關係ハ斯ウナ  
ツテ居ルト云フコトカラ、マルデ八方  
賴ミニ賴シデ歩ク、終ヒニハ何處へ行  
カバ與リ知ラヌ、俺ノ方ハドウニモナ  
ラスト云フ譯デ、石炭ノ關係ハ斯ウナ

マフ、何處へ行ツテ宣イカ分ラムト云  
フヤウナ現状デス、失禮ナコトヲ言フ  
ケレドモ、松尾ハソンナ目ニハ遭ハヌ、  
現在私ハ大臣ノ考トハ逆ナ途ヲ云ツテ  
居ル、斯ウ見テ居ル、ソレニ付テ大臣  
大臣ハ本當ニ生産増強ノ爲ニ、此ノ擔  
税能力ヲ容易ナランメ、涵養スル爲  
ニ、大臣大臣ハ本當ニドウシテ之ヲ統  
制シテヤツテ行クカ、斯ウ云フコトデ  
ス、私ハ此ノ頃法制調査會ニ於テモ大  
藏大臣ノ權限ヲ強化スルト云フコトニ  
付テハ有力ナル主張者ノ一人デアリマ  
ス、ソレハ今後ニ於テ我ガ國ヲ再建ス  
ルニハ、金融ト財政ト云フモノニ強力  
ナル權限ヲ持タセナケレバ再建出來ナ  
イト思フ者デアリマス、サウ云フ意味  
ニ於テ如何ニシテ負擔能力ヲ涵養スル  
カ、斯ウ云フコトニ付テ、私ハアナタ  
ノ一ツ本當ノコトヲ承リタインデアリ  
マス、サウシテ私ガ今考ヘテ居ルコト  
ガ遠ツテ居ルナラ遠ツテ居ルトンテ、  
遠ツテ居ルトサウ仰シヤレバ、明日カ  
テノ事實ニ付テ考ヘマス、決シテ私ハ  
政府ノ政策ヲ非難シタリ、攻撃シタリ  
セムトスル者デハナイ、嫌ナラ……意  
見ハアルケレドモ、サウ云フコトヲ言  
フ者デハナイ、兎ニ角此ノ増稅案ヲ贊  
成スル以上ハ、アナタノ考ヘ方ヲ成功  
サセタイ、是ダケデアリマス、デアル  
カラ私ハエラク長イコトヲ申シマシタ  
ガ、意見デモ何デモナイ、御尋ネスル  
本當ノ氣持ヲ申上ゲタノデアリマス、  
ダカラ大臣モ本當ノ氣持ヲ聞カシ  
テ貰ヒタイ、如何ニモサウ云フコトガ  
生産ニ邪魔シテ居ルモノナヤト思フ、  
又一方抑ヘル、實ニ迷惑千萬ナ狀態デ

大官壯語スルノモ何デモナイ、私モ相當ニ書イテ居リマス、大臣ガ自分分ナレバ分ルンデヤト云フコトヲ書イテ居ル、ダカラドウゾ今迄ノヤウナ政治家部長ニ終ラズニ、本當ニ私モ熱意アル所ヲ……、セウ一遍申上ゲマス、私ハ自分で直接難儀シタコトニ關係ナナイガ、見テ居ルト如何ニモヤル瀬ガナイ、斯ウ云フ増税法ヲ協賛スルカニハ、ドウゾ今迄ノ政治家デナシニ……、今迄ト云フト惡イガ、過ギタルコトヤナシニ、本氣ヂ連絡ヲ執クテ、サウニ云フコトノ現實化スルヤウニ御願ヒ政シマス、是デ私ハ終リマス

○委員長(男爵周布兼道君) 大藏大臣ニ御質問ガゴザイマスレバ此ノ際願ヒマス

○井川忠雄君 遅レテ參リマシテ、或ハソレ迄ニ私ガ是カラ御尋ネシヨウ、思ヒマスコトニ付キマシテ、質疑應答ガアツタカト思ヒマスガ、其ノ時ハシウゾサウ仰シャツテ戴キマス、私ハ此ノ増税案ニ反對スル者ヂヤアリマヌ、唯是ダケノ増税ヲ此ノ際爲サルモノトスマスレバ、矢張リ納得ノ行タク、ウナ納メ方ヲ國民ニシテ貰ハナケレ、ナラヌ、殊ニ私共直接色々國民ノ聲ニ聞ク後ヲシテ居リマスノデ、此ノ際聞キマシタコトヲ纏メテ極ク簡單ニ申トゲテ、大臣ノ御意見ヲ承リタイト思テ居リマス、昨日主税局長カラ各國之數字ノ上デハ或ハサウデアルカト思マスルガ、是ハ私ハ日本ト海外諸國、ダ日本ニ於テハ擁稅ガアルト云フカゲテ、大臣ノ御意見ヲ承リタイト思テ居リマス、昨日主税局長カラ各國之國民所得ナゾフ御比較ニナリマシテ、ノ色々ノ事情ヲ比べテ何時モ感ズルトデアリマスガ、數字ニ視ハレテ居

ハドヴモ西洋手拭ト云フモノハ絞ツテ  
絞リ切レナイデ潤ヒガアリマス、日本ニ  
拭ト云フモノハ絞ツタラ潤ヒガナク、  
ノ頃デハ直グ乾イテシマヒマス、ソ  
ダケノ違ヒガアリマス、唯國民所得  
國民一人當リノ税負擔ヲ比べテ、マ  
大藏省デハソレト爲齊相場ナド今ノ  
場デ比較シテ見テヤツチ、遞信省ガリ  
ノ間郵便料ノ値上ノ際ニ出サレタア  
云フ比較ヲサレナイデ、私ハ大變喜  
デ居リマス、ア、云フ簡單ナ比較ヲ  
レテ、マダノ日本ノ方ガ低イ、餘  
ガアルト、斯ウ云フ比較ヲスルコ  
ハ、私ハ間違ツテ居ルト思ヒマス、一  
ナリ重稅デアルト思ヒマス、殊ニ私  
斯ウ云フ増稅案ガ、今後出テ來マ  
財產稅ナドト一緒ニナリマシテ、恐  
ク我ガ國ノ中產階級ト云フモノハ是  
没落シテ行クノデヤナイガ、斯ウ云  
風ニ考ヘ居ルノデアリマス、此ノ  
ノ日本ノ狀態ヲ御観ニナレ、直グア  
ル、話ハ少シ脇へ逸レマスガ、大變日  
蟲負ノ或「イギリス」「ビショップ」ガ  
最近チヨツト見エマシタ、大陸徹慶  
人デ、嘗テノ日本ノ軍部ニ處メラレ  
ニモ拘ラズ、我ガ皇室ニ對シテ非常  
尊歎ノ念ナ持ツテ居ル、早速宮城ノン  
ニ敬意ヲ拂ヒニ參リマシタガ、夜ダ  
タ、アソコヲ通りマシテ非常ニ驚  
タ、マヅイ言葉ヲ使ヒマスガ、御本  
ノ仰シャツタ通リノ言葉ヲ使ヒマス  
アレハ草原デナイ吉原ダ、斯様ニ日  
ガ零落ブルトハ思ハナカツタト言  
テ、サウシテ涙ダンデ居ラレタ、其  
頃ハ中產階級ノ娘サン方モ、生活ニ  
テ色々ナコトワヤルヤウニナツタ

モ此手相此レヤ、ノ人イ前タニ本ラスヲナテ、シテナラトサシ、シテサシノトコトハ、マヌケトシタデ。ウカト、能ク地方ノ代表ノ方ガ言ツテ居ル、行政費ヲ見マシテモ是ゾト云フヤウナ節約ノ跡ガナイヤウニ思ヒマス、政府ハ一體ドノ位節約シタデセウカト、斯ウ思ハレル節ガ澤山アル、テナケレバナラヌノデヤナイカト思ヒマス、政府ハ一體ドノ位節約シタデセウカト、能ク地方ノ代表ノ方ガ言ツテ居ル、行政費ヲ見マシテモ是ゾト云フヤウナ節約ノ跡ガナイヤウニ思ヒマス、勿論「インフレ」モ手傳ツテナカナカ数字ヲ出スコトハ出來ヌカト思ヒマスガ、例へば鐵道ハ、營テ二十萬人ノ從業員デヤツテ居ツタ時代ノ、交通量シカ今日ハナノニ、ソレガ五十萬人ヲ超エテ居リマス、復負者ナドヲ入レマストソソンナ數ニナリマス、是ハ鐵道ヲ例ニ引イタダケデアリマスガ、各省ノ實際ヲ見マシテモ、御忙シイコトハ可成リ御忙シイコトデアリマスケレモノ、サウデナイ方モ可成リ御アリソレカラ國債費デアリマス、是ハ成程現在ノ儘デハ已ムヨ得ナインデゴザイマシテ、是ダケノ大キナ數字ニナツテ來ルノモ、或ハ考へ方ニ依ツテハ仕方ガナイト云フヤウナコトモ言ヘルカト思ヒマスガ、是モ此ノ儘放ツテ置ケバ、來年ハ此ノ十倍位ニナリハセヌカト思ヒマス、「インフレ」ニナラヌト仰シヤレバソレ切りデゴザイマスガ、今ノ財政ノ立て方デハ「インフレ」ニナルト思フ、殊ニ只今ノ松尾サンガ御心配ノ通りニ、増税が出来ナケレバ「インフレ」ニナルト思ヒマスガ、差當ツテノ問題トシマジテハ、國債ヲ帳消ニスルト云フヤウナコトハ、是ハ少シ

キ過ギテ居ルト思ヒマスガ、セメテ國ト同ジク依然トシテ、三分五厘ヲ維持シテ置クト云フコトニ付テモ少シ御考ヲ顧ツタラドウデアリマセウカ、殊ニ軍需賞賃ノ打切、ト關聯シテ、終戰前等モ國債ニ對シテハ、例ヘバ御承知ノヤウナ非常ニ低利、長期ナモノニ借替ヘテ居リマス、ソレハ極ク長期低利デ而モ免稅約款附テゴザイマス、如何ナル中央地方、政府デモ、之ニ稅ヲ課ズルコトヘ出來ナイ、一分位ノ利附キノモノデモ富蔵階級ハ喜ンデ之ヲ買ヒマス、一分デモ、一分五厘ノ金利デモ、分類トカ綜合ノ課稅ガサレレバ一分ソヨ／＼ニナラヌデモ、ソレハ替リマス「コンソル」公債式ノモノハ値段ガ落チテ居リマセヌ、我ガ國デモ無利息ト云フ譯ニハ行キマスマイガ、之ヲ實質上一分トカ何トカ御下グニナル、或ハ之ヲ下グル代リニ、課稅ノ形式デ二分五厘程度御取リニナツテ、五十年百年ノ長期公債ニ御借替ニナレバ根本的ナ解決法デヤアリマセヌガ、國債費ヲ節約スルノニ或ハ役立ツノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ從來ノ軍事費ニ代ルモノガ今日ノ進駐軍ノ經費ダト思ヒマスガ、是モ考ヘヤウデ、向フ様ニ持ツテ戴クコトヲ御交渉下サシタラドウカト思ヒマス、私ハ「シベリヤ」事件ノ際ニ、政務部附ニナリマシテ、色々財政問題ヲ扱ハシメラレタノデオザイマスガ、アノ際「チエッコ」ノ兵隊ガ「シベリヤ鐵道ヲ通ツテ本國へ歸ル、之ヲ聯合軍ガ助ケタマセウナコトニナツタ、一時「シベリヤ」鐵道ヲ「チエッコ」ガ管理シタ、聯合軍モ「チエッコ」モ「シベリヤ」鐵道ヲ使ツタ、處方聯

合軍ハ「チエツコ」カラ勘定書ヲ附  
ケラレマシタ、私引續キ居リマセヌデ  
シタノデ、記憶致シマセヌガ、聯合軍  
ノ意見ハ、是ハ拂ハナケレバナラヌト、  
云フコトデアツタヤウデ、私共ノ考デ  
ハ、「チエツコ」ノモノデハナイケレド  
モ、假ニ「チエツコ」ノモノトシテア  
ル、ソレガ面モ「チエツコ」ヲ安全ニ  
本國へ還シテヤル、ソレヲ聯合軍ガ手  
傳ヒヲヤツテ、汽車貨ヲ取ルノハラカ  
シイト云フ老デアツタガ、一方高イ所  
カラ考ヘマスト、是ハ聯合軍共通ノ問  
題デアル、平和ヲ維持スル爲ニ必要ナ  
問題ダカラ、是ハ聯合國ヲ當然共通ニ  
負擔スベキモノダ、ト云フ考ヘ方デア  
シタヤウニ思ハレル、日本ニ於ケル進  
駐軍ノ経費ト云フモノモ、成ル程、日  
本ハ戦ニ負ケマシタ、併シ今駐在シテ  
居ラレルノハ、是ハ世界ノ平和ノ爲ニ  
駐屯シテ居ラレルノデヤナイカト思  
フ、ソレナラバ其ノ費用ト云フモノ  
ハ、或ハ是ハ世界全體トシテ負擔シテ  
宜イデヤナイカ、日本ダケガ之ヲ負擔  
スベキモノデヤナイデヤナイカ、ト云  
フ風ニ私ハ考ヘル、殊ニ終戦前ニ「ア  
メリカ」ノ大統領ガ「ビラ」ヲ撒キマ  
シテ、日本ノ軍閥ヲ相手ニスルケレド  
モ、國民ハ相手ニスル譯デヤナイ、ト  
云フヤウナコトヲハツキリ闡明シテ居  
リマス、從ツテ此ノ際日本ノ國民ガ一  
圓ヲ納メル稅金ノ中、三十三錢デシタ  
ガ、進駐軍ノ經費ニ納メルトシテモ、  
負擔ニ堪ヘナイ、又是ガ爲ニ「インフ  
レ」防止モ非常ニ障碍ヲ來スト云フコ  
トモ、理ヲ以テ御盡シニナツタナラ  
バ、或ハ進駐軍ノ經費セ、或程度迄削  
減ノ餘地ガアルノデヤナイカト思ハレ  
マス、斯ウ云フ行政、國債、軍事費ニ代  
トモ、理ヲ以テ御盡シニナツタナラ

シ徹底的ニ歳出ノ歩調ヲ圖ラレマシテ、ソレデナクトモ大勢ハ「インフレ」進行デ、非常ニ殖エテ行クト思ハレマスカラ、是ハ松尾サンノ御話ガアリマシタヤウニ、増産ニ對スル障壁ヲ除カレマシテ、増産ト云フ方面ニ、國力ノ全體ガ向クヤウナ財政體系ヲ御整ヘニナシタラドウカ、コンナ風ニ考ヘルノデアリマスガ、一ツ是等ノ點ニ關シマシテ、大臣ノ御所見ヲ承リタイ〇國務大臣(石橋湛山君) 御意見如何ニモ御尤モデゴザイマス、第一ノ行政整理ノコトハ、無論前内閣ノ時ニハ一應ヤツタ譯デアリマスガ、尙一つ根本的ニ考ヘテ見タイノデ、是ハ私バカリデヤナイ、閣内全體ノ意見デアリマス、ソレカラ第二ハ後トシマシテ、第三ノ此ノ進駐軍ノ經費ハ、先程チヨント申上ゲタ、實ハアレダケノ費用デモ、多少前内閣ノ時ニ減ラシテ質ツタ譯デアリマス、ケレドモマア減ランシタノハ、實質ハ二萬戸家ヲ建ナルト云フノワ一萬戸立テルト云フコトニナツタノデアリマスガ、一向其ノ效能ガナカツタ、實質ニ於テハ、金額ノ上ニ於テハ、ソレニシテモアンナコトニナツテシマツタ、斯ウ云フ譯デス、御話ノ如ク相手ノアルコトデアリマスカラヤリマスケレドモ、極力之ヲヤガルヲ得ナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ國債ノ利子ノ問題デアリマスガ、是ハノ中ニハ三分五厘ヲ一分ニ下ゲルト云フ案モアリマス、併シナガラ唯實ニ困ルコトハ、今日ノ日本ノ國債ハ九割何分ガ銀行、ソレカラ郵便貯金其ノ他ノ金融機關ガ預金見返リニ持ツテ居ル譯

デアリマス、デスカラ英國アタリノヤニ、ク知リマセヌガ、サウ云フ風ニ、金融機関が大部分持ツて居ルンデナク、大部 分ハ今御話ノヤウニ金持ガ世襲財産の持ツテ居ルト云フヤウナモノアリマスト、「コンソル」ノヤウナ處理が出来ルノデアリマス、日本ノモノトイキナリ一分ニ下ゲルト云フ風ニナリマスト、第一、郵便貯金ノ利拂カランテ變へテ行カナケレバナラナイ、各銀行ノ利拂モ變ツテ來ル、ソレカラ一分ニ下ゲレバ自然國債ノ價格モ下ツテ來ル、サウスルト銀行等ノ資産ニ動キヲ生ズル、サウ云フ點ヲ十分ニ考慮シマセヌト、此ノ國債ノ問題ニハ急ニ手ガ附ケラレナイ、斯ツ云フ譯デ實ハ前ノ大臣、サウ云フ研究ヲサレテ居リマス、其ノ奏ヲ採用ゼズニ、今度ハ三分五厘ト云フコトニシタノデアリマス、其ノ他補償問題ナド同時ニヤツクテ又何カ處理ノ方法ハアラウカト考ヘシタガ、其ノ奏ヲ採用ゼズニ、モ御意見テ居ツタノデアリマスガ、是モ色々ノ關係上補償問題ダケヲ矢張リ處理シテ行クト云フコトニナリヤシタノデ、現ニ於テハ、色々衆議院等ニモ御意見ハアリマスガ、國債ヲ打切ルトカ或ハ国債ノ利子ヲ下ゲルトカト云フコトハ事實困難デアル、ソレヤレバ預金ヲ切下ゲルトカ預金ノ利子ヲ下ゲルト云ハレルカハヤツテ見ナイト分ラナイノモ預金ノ整理ト云フ問題ニ入ツテ來ルノデアリマスガ、今度ノ補償ノ關係デテ預金ノ整理ガドレ難實際ニ於テ行コトニナリマス、デスカラドウシテハレルカハヤツテ見ナイト分ラナイノモ預金ノ整理ト云フ問題ニ入ツテ來ル係ガアル、斯ワ云フ譯デアリマスルカラ、國債ニハ矢鱈ニ手ヲ觸レルコトハ現状ニ於テハマア困難デアルバカリデ

ナク、將來ニ於テモ是ハモット大キナ  
何カ處理が行ハレル場合ハ、是ハ別問  
題デアリマスガ、私ハ國債ダケニ手ヲ  
付ケルト云フコトハ實際ニ於テ不可  
能デアルト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リ  
マス

○井川忠雄君 モウ一ツ御伺ヒシタイ  
ノデアリマスガ、今日五百圓生活ガヤ  
リ切レナクナリマシテ、皆ガ已ムヲ得  
ズ闇ノモモ買ツタリシテ居ルヤウデア  
リマス、ソレガ落付ク先ハ何處カト申  
シマスルト、所謂第三國人、噂ニ依レ  
バ九十億カラ二百億近イ新聞ガ其處ニ  
集ツテ居ル、或ハ日本ノ闇取引専門家  
モ入ツテ居ルト想ヒマスガ、之ヲ矢張  
リ捕ヘテ税稅ナサルトカ何カナサラナ  
ケレバ、甚ダ不公平デヤナイカト想ヒ  
マス、或ハ又一括シテ二百億位ニナツ  
タ時ニ百分ノ一二切下ゲテ二億位ニシ  
テシマフト云フ御考ヘデアルカモ知レ  
マセヌガ、伊制ニ關スル委員會トシテ  
ハ之ヲ何カ御課稅ナサルト云フヤウナ  
御意向デアルカナイカヨ一ツ御尋ネシ  
テ置イテ考ヘルノガ當然チヤナイカト  
思ハレマスガ、如何ナモノデアリマセ  
ウカ

○國務大臣(石橋湛山君) 是ハ課稅ス  
ルコトニナツテ居リマス、現在デモ課  
稅ヲシ得ルコトニナツテ居リマス

○井川忠雄君 ケレドモ實際上ナカ  
ナカ捕捉出來マセヌガ、又三月ノ御手  
段ノヤウナコトヲ御執リニナツテ強制  
貯蓄デモヤラセナイ限りハ、或ハ新聞  
ニ御引替ニナラナイ限りハ、幾ラ彼等  
ガ持ツテ居ルカト云フコトハ分ラナイ  
ノデアリマス、サウ云フ御手段デモ御  
執リニナツテ徹底的ニ御課稅ナサル御  
考ヘデアリマスカ



方面カラ調査シテ居ルト云フコトハ實際ニ於テハ良イコトデモアルノデスガ、併シ過去ノ見立割、戸數割ノヤウナ弊害ヲ起シ易イデスカラ、其ノ點ハ只今御説明ガゴザミマシタガ、十分ニ能ク各地方デ以テ旨ヲ了解シテ適正ナ課税ヲスルヤウニ御取計ヒ願ヒタイト思ヒマス

○男爵松平外與齋君 今回地方税ノ制度ニ付キマシテ若干ノ御改正ガアリマシタノデアリマスガ、現行法ヲ拜見致シマスト、獨立稅トシマシテ府縣稅ニ八種目、ソレニ町村稅ト致シマシテ七種目アルノデアリマスガ、現在矢張り獨立稅トシテ徵收シテ居リマスルモノデゴザイマスカドウカ、先づ第一ニソレヲ伺ヒタ

○國務大臣(大村清一君) 此ノ稅法ノ上ニ規定致シテ居リマスル獨立稅ハ大體ニ於キマシテ取ツテ居リマス、一部止メテ居ルモノモアルヤウデアリマスガ、先づ大體ニ於テ之ヲ取ツテ居リマス、併シ何ニ致セ、細々致シタモノニアリマシテ、地方ノ財源ト致シマシテハ、サウ有力ナモノハ今ノ所先ヅナイ隣デアリマス

○男爵松平外與齋君 大體承致シマシタ、サウシマスルト内務大臣ノ御立場トシテ、將來地方稅ノ中心ヲナスモノニ付キマシテ、何カ御考へ、御見込ハアリマスカ、大體承リタイ

○國務大臣(大村清一君) 此ノ地方團體ノ財政ヲ運用致シテ行キマス上ニ於キマシテハ、現在ノヤウニ收入ヲ國家ナシテ、成ルベク地方團體ガ自分ノ收入ナシテ、自分ノ仕事ヲ賄ツテ行クト云フヤウナコトニ仕向ケル必要ガアルダラウト

思ヒマス、殊ニ此ノ地方行政ノ民主化ト申シマスカ、地方自治ノ伸張ト申シマスカ、サウ云フヤウナ時勢ノ要求カラ致シマシテモ其ノヤウナコトニ致シテ行キタイト思シテ居ルノデアリマス、併シ是ハ徹底ニ西百「バーセント」ノ費経ヲ全部自前デヤツテ行クト云フコトハ出来ルカト申シマスト、必ズシモサハハ行カナイノデアリマス、殊ニ日本ノ過去ノ経験カラ申シマシテモ市町村等ノ各團體ノ間ニ於キマシテハ、非常ニ財源ノ多イ團體カアリマス、ソレカラ或ハ財源ノ非常ニ貧弱ナ團體モアリマス、其ノヤウナ場合ニ於キマシテ、晉弱ナ團體ハ相當高率ノ稅金ヲ取りマシテ、晉弱ナ團體モ尙且極メテ貧弱ナ行政シカヤツテ行ケナイ、處ガ富裕ナ團體ニ於キマシテハ比較的低率ノ稅金ヲ取りマシテモ收入ガ相當ニ上ツテ參リマシテ、ナカニ行政上行キ届イタコトガ出來ルト云フヤウナ所ガアルノデアリマス、此ノヤウナ點ヲ何年カ續ケテ行キマスルト、然ニ富裕團體ハ富裕ニナリ、貧困團體ハ益々貧窮化スルト云フヤウナ傾向モ認メラレマスノデ、ソヨニ何ガシカノ各公共團體ノ課稅力ノ厚薄ヲ考慮致シマシテ、行政上ノ調整ヲスルナラウナ分與稅ノ制度ヲ加味スルコトハ必要ダラウト思ヒマス、此ノ割合ニ付テドウスルカト云フヤウナ點ニ付テハ、色々今後研究シナケレバナラヌ問題アリマスガ、私ニ應ノ考ト致シマシテハ、先づ地方ノ財源ノ中で三分ノ一位ハ分與稅的ナ、調整作用ノアフル收入ニ據リ、残リ三分ノ二、六七割ノ所ハ前デ切盛ガ出来ルト云フヤウナ所ニ致シマスレバ、一應望マシイ結果ニナルノデハナカラウカト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、併シ此ノヤ

ウナ地方財政制度ヲ立テルト致シマシテモ、是へ現在ノ制度ニ則リマンシタノデハ到底其ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、餘程根本的ナル改革ヲヤラナケレバ出來ヌコトデアリマス、又はハ到底自治體ダケノ間デヤレル問題デゴザイマセヌ、國ノ稅制及比國ノ財政上ノ措置ヲ改革ヲスルト云フコト相併行シテヤラナケレバ到底其ノ目的ハ達セラレナイト思フノデアリマス、サウシテ國稅ニ於キマシテモ度々大藏大臣ガ聲明サレテ居リマスヤウニ、成ルベク近イ機會ニ於キマシテ國ノ稅制及財政ノ根本的改革ハ致スト云フコトニナツテ居リマス、ソレト相即應致シマシテ地方ノ稅制及財政ニ付キマシテモ改革ヲ致サナケレバナラズ、サウシテ改革ヲ致スニ付キマシテハ、私只今申上げマシタヤウナ一應ノ所見ニ付キマシテモ、廣ク民意ヲ聴キマシテ、所謂官僚獨善ニ墮サナイヤウナ適當ナ案ヲ得ナケレバナラヌト思ヒマス、從ツテ今分與稅ニ依ソテ始末ヲスルモノハ凡ソ三分ノート申上ゲマシタガ、是モ民主的ナル研究ニ依リマシテ三分ノーモウ少シ減スノガ宜シヨコトニナルカモ知レナイ、或ハモウ少シ多クテモ宜シイト云フコトニナルカモ知レヌ、ソレ等ノ點モ含メマシテ一つ地方稅制及財政ノ根本的改革ト云フコト國稅ト相呼應致シマシテ致シタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第アリマス

ダラウト思ヒマスガ、今御話ニアリマス通り、出來得ベクンバ各地方自治體ニ於テ特殊ノ稅源ヲ持シテ特殊ノ整備體系ヲ持シテ處理スルノデナケレバ將來日治制ノ圓滿ナル發達ト云フ點カラ見テモ非常ナ阻害ガ起ルノデハナイカト思ヒマス、只今御話ノアリマシタコトハ出來レダケ近イ將來ニ於テ是ガ實現スルヤウニ御努力願ヒタイト思ツテ居リマス○委員長(男爵周布兼道君)内務大臣ニ對スル御質問ハ只今ザイマセヌカトシテ大藏大臣ニ御尋ネスルコトバカリシカ研究シテ參リマセスデシタノデアリマスガ、税金ヲ澤山徵收致シマスト云フ方法ニ付テチヨソト思ヒ付イタモノデスカラ、殊ニ私今申上ゲルコトハ監督ノ任ニ當シテ居ル所ハ警視廳關係又ハ地方ノ警察關係デザイマスノデ、チヨソト内務大臣ニ御伺ヒ致シタイ譯デアリマスガ、我々ハ日常生活シテ居ル経費失費ト云フモノヲ大體勘係トシテ見マスルト、何ニ一番澤山失費ガ嵩ムカト云ノコトヲ第一番ニ考ヘテ見マス、サウシマスト、現下ノ事情カラ致シマスト、食糧關係或ハ飲料關係云フモノガ非常ニ大キナ額ヲ占メテ居リマス、ソレデ昨今ノ如ク汽車ガ満員ニナソテ居シタリナシカ致シマンシテ、地方ニ行シタリシタ場合、殊ニ我々ハ宿屋住ヒ或ハ其ノ他ノ飲食店アタリニ始終行ク機會ガ多イ譯デアリマスルガ、宿屋或ハ飲食店アタリデドウ云フ程度ノ代金ヲ要求シテ居ルカト云フヨツト見マスルト、實ニ大キナ額ヲ請求致シマス、或例ニ依リマスト、一

ラレタ例モゴザイマス、斯ウ云フモノ  
ガ果シテ眞面目ニ飲食税トシテ稅務署  
ニ申出ルカドウカ、ソレカラ宿屋ノ如  
キモノニ於キマシテモ、一定ノ固ニ依  
リマスル支拂ノ分以外ニ、特別料理ト  
云フヤウナコトデ、又ソレヲ要求致シ  
マセヌコトニハ食糧ガ足リマセヌモノ  
デスカラ、已ムヲ得ズサウ云フモノヲ  
御願ヒスル譯アリマスルガ、サウ云  
フ特別才、詰リ決メラレタモノ以外ノモ  
ノノ注文ニ對スル品物ニ對シテ、完全  
ナル國民義務トシテノ稅金ヲ納メラレ  
テ居ルカドウカ、或ハ例ヘバ東京アタ  
リノ話ニ致シマスルト、オ茶ヲ飲ム場  
所モ隨分澤山ガザイムスガ、サウ云フ  
所ヘ行ツテ見マスト云フト、稅額幾ラ  
ト云フコトガ皆書イテアリマスガ、  
「キヤッショ、レヂスター」ヲ持ツテ居  
ツテ、ソレヘ料金ヲ一々入レテ居ル所  
ハ人數デ調査ヲスル方法ガアリマスケ  
レドモ、サウデナイ所ハドウシテ其ノ  
稅金ヲ取立テル對象ニスルカト云フコ  
トガ非常ニ私ハ疑問ダト思フ、デ我々  
ノ日常生活カラ考ヘタ、詰リ或意味デ  
ハ悪口ニナリマスガ、脫稅部門ト云フ  
モノハ非常ニ多イ、之ヲ完全ニ徵收ナ  
サレバ、私ハ財源ニ餘程大キナ「プラ  
ス」サレル筋ガアルノゾヤナイカトス  
ウ考ヘマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシ  
テ警視廳、或ハ其ノ他ニ對シマシテ、  
孰ラレル御方針ガ何カ御アリデゴザイ  
マシタラ此ノ際承レバ幸ダト存ジマ  
マス

シテ居ラヌ、公正ニ行ハレテ居ラヌト  
云フヤウナ面、乃至ハ警察ノ力ニ依リ  
マシテ、警察ノ權力ニ依ツテ農作物ノ  
増産ヲスルト云フヤウナ、サウ云フヤ  
ウナ積極行政面ニ警察ノ進出スルコト  
ハ、最近ニ於キマシテハ全部之ヲ後退  
サセマシテ、今日ニ於キマシテハ警察  
ハ犯罪事件、或ハ罰則ヲ伴フヤウナ事  
件、サウ云フヤウナ違法事件ヲ豫防、  
禁過ヲスルト云フコトニ專念サセマシ  
テ、ソコニ從來ノ警察ノ行キ方ニ百八  
十度ノ轉回ヲサセルト云フコトガ、終  
職後ノ警察ノ行キ方デアラウト云フコ  
トデ懸命ナ努力ヲ致シテ來テ居リマ  
ス、マダ其ノ點ニ付キマシテ完全ニ下  
部迄渗透シテ居ルト云フコトハ言ヒ切  
レナイ面モ殘ツテ居ルカト恩ヒマスル  
ガ、併シ最近ニ於キマシテハ其ノ警察  
ノ行キ方ニ付キマシテハ、大體ニ於キ  
マシテ餘程下部迄渗透致シ、違法事  
件ノ豫防摘獲ト云フコトニ專從スルト  
云フコトデ、今其ノコトニ依リマシテ  
一ツ警察ノ民衆カラノ見方ヲ是正ヲサ  
セテ、變ヘテ貰ヒ、又本當ニ其ノ意味  
ニ於キマシテ警察ガ國民ノ公僕デアル  
ト云フ所ニ特ツテ行キタイト云フヤウ  
ニ、實ハ考ヘテ居リマスル次第アリ  
マシテ、只今ノヤウナ、此ノ國ノ課税  
ガ適正ニ行ハレテ居ルカドウカト云フ  
ヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ専ラ稅  
務當局ノ計ヒニ俟ツコトニ致シマシ  
テ、警察ハ關與シテハナラスト云フ實  
ハ方針ヲ執ツテ居ル次第アリマス  
○井川忠雄君 只今ノコトニ關聯シマ  
シテチヨツト御伺ヒシマスガ、アノ納  
稅證紙ノ制度ハモウ御止メニナリマシ  
タカ

シテ居リマスルガ、實際上證紙ノ印鑑  
竝ニ配付ニ非常ナ手數ト技術ヲ要シ  
スノデ、只今ハ實際ハ行ハレテ居リ  
セヌガ、制度トシテハ、何時デモヤリ  
得ルヤウニナツテ居リマス  
○井川忠雄君　ドウモ此ノ制度ガ  
甚ダ遊興飲食稅ノ徵收ト云フコトゾ  
ウマク行ツテ居ラヌノデヤナイカト  
思ヒマスガ、私共行キマシテモ、且  
ハ稅務署長ノ諒解ヲ得テ居ルト云フ  
トデ、「ゴム」判カ何カガ捺シテアリ  
マジテ、好イ加減ニ遊興飲食稅ヲ取  
ヤウデアリマスガ、果シテ之ガ稅務署  
ノ方ニ納ツテ居ルカドウカト疑ハ  
イ、私共急イデ居ルモノデアリマスナ  
ラ、一々勘定書ニ捺シテアル番號モ取  
合シテ居リマセヌガ、非常ニ大キ  
稅が行ハレテ居ルノデヤナイカト云  
風ニ考ヘルノデアリマスガ、何カ印刷  
ガ間ニ合ヒマセヌガ、例ノ「スクラン  
ブル」制度モアリマセウシ、何カニ  
代ル方法デ、例ヘバ領收書ヲ百圓ノ納  
稅濟ノ領收書ト云フヤウナモノヲオ  
リニナツテソレニ受取ヲ書カセルトナ  
何トカ云フ方法モヤツテ行カレマス  
ヌト、イカシノデヤナカト思ヒマ  
ガ、如何デアリマスカ

マシテ、サウシテ共同申告ヲサセテ居  
リマス、從ヒマシテ業者毎ニ或程度牽  
制シ合ヒマスノデ、サウヒドイ脱税ハ  
ナイト思ヒマス、又業者團體ノ共同申  
告以外ニ税務署カラ個々ニ付テ調査ヲ  
致シテ居リマスノデ、外ノ税ヨリハ非  
常ニ脱税ハ多イト思ヒマスガ、是ハ遊  
興飲食税自體ソ持ツ悪イ所デアリマシ  
テ、而モ非常ニ税率ガ高イト云フ此方  
ニモ税法自體ノ缺陷ガアルコトデアリ  
マスノデ、極力脱税防止ニハ努メ居  
リマスルガ、今後モサウ云フ方面ニ付  
キマシテハ出來得ル限り研究ヲ致シタ  
イト思ツテ居リマス  
○井川忠雄君 重ネテ御伺ヒ致シマス  
ガ……  
○委員長(男爵周布兼道君) チヨツト  
井川君ニ御尋ネ致シマスガ、内務大臣  
ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ  
○井川忠雄君 エ、ゴザイマセヌ  
○委員長(男爵周布兼道君) ソレデハ  
内務大臣ハ退出サレルカ知レマセヌ  
ガ、誰方カ御質問ガアリマセウカ、如  
何デアリマスカ、今日ゴザイマセヌケ  
レバ、大臣ハ退出ラサレマス  
○井川忠雄君 繰イテ伺ヒマスガ、只  
今ノヤウナ場合ニ酒ノ配給量ト云フヤ  
ウナモノヲ何カ標準ニシテ推定シテ課  
稅サレルト云フヤウナ手ハナイモノア  
リマスカ  
○政府委員(池田勇人君) 酒ノ配給量  
ト申シマシテモ、只今ハ實ハ高級料理  
店ニ對シマシテノ酒ノ配給ハ殆ド停止  
致シテ居リマス、ソレカラ遊興飲食稅  
デ藝者ノ花代ニ付キマシテハ是ハモウ  
正確ニ行ツテ居リマス、之ニ付キマシ  
テノ脱税ハゴザイマセヌ、唯、料理ノ  
點ニ問題ガゴザイマス、其ノ料理ヲ殆  
ド配給シナイ酒ノ分量デドウ斯ワト云

○子爵藤井兼誼君 三點、共ニ特殊預金ノ點ニ付テ質問致シタイと思ビマス、第一點ハ會社ガ企業整備デ解散ヲ致シマシタル場合ニ交付金ガ渡サレルノデアリマスガ、是ガ特殊預金トシテ封鎖サレテ居リマスノデアリマスガ、其ノ所得額ハ、其ノ個人ノ自由ニナル所得ト一緒ニ納稅サルベキ所得額トシテ決定サレテ來テ居ルノデアリマス、例へば十萬圓ノ所得ノアル者ガ今會社ガ解散致シマシテ二十萬圓ノ交付金ヲ受ケマシタ時ニハ、其ノ前ノ十萬圓ノ所得ト、交付金ヲ受ケマシタ二十萬圓ノ所得トヲ合セテ、三十萬圓ノ所得ニ對シテ今度ノ稅ノ百分ノ六十四ト云フモノガ課セラレル譯ニナルト思フノデゴザイマスガ、此ノ會社解散ノ場合ノヤウナ特殊預金ハマダ本人ガ自由ニ處置出來ナイ、封鎖サレタモノ、或ハ凍結サレタモノデアリマスルガ、是ガ自由ニ處置ナシ得ル所得ト同ジヤウニ稅率ヲ課セラレテ、サウシテ納稅ヲシナケレバナラナイト云フ點ハ、少シドウカト恩フノデアリマスルガ、先づ第一點ハ此ノ點ニ付テ御説明願ヒタイト思ヒマス、モウ一度申上ゲル、會社ガ解散致シマシタ時ニ交付金ヲ受ケマス、サウシテ其ノ交付金ガ特殊預金トナリマシテ封鎖サレテ居ル譯アリマス、戰災ヤ、ソレカラ此ノ疏開ノ場合ノ特殊預金ト同ジヤウニ特殊預金トシテ封鎖サレテ居ル、サウシテ其ノ特殊預金ノ金額ニ對シテ決定書ニ稅ヲ拂フベキ戻シ解除ヲ受ケマシテ、自分ノ自由ニ處置シ得ル所得ニナリマシタ場合ハ、

之ニ對シテ課税セラレルト云フコトハ  
ヨク分ツテ居リマスガ、サウデナク  
シテ、凍結サレタ儘ノ所得ニ對シテ課  
稅額トシテ決定サレル、サウ云フ申シ  
渡シガアルト云フコトハドウ云フヤウ  
ナ工合ニナツテ居リマスノデセウカ、  
例へバ十萬圓ノ所得ガアリマスル者  
ガ、會社ノ解散ニ依リマシテ二十萬圓  
ノ交付ヲ受ケマス、サウスルト其ノ自  
由ニ處置シ得マスル十萬圓ノ所得ト、  
會社解散ニ依リ受ケマシタ交付金ノ  
特殊預金ノ、自由ニ處置シ得ナイ二十  
萬圓ノ金額ノ合計三十萬圓ヲ其ノ本人  
ノ所得ト致シマシテ、之ヲ納稅ヲ課ス  
ル金額、斯ワ決定シテ來テ居ル、斯ワ  
云フ話ナノデアリマス、ソレハドウ云  
フノデゴザイマセウカ、モウ一ツハ之  
ヲ納稅ト致シマシテモ、納稅スベキ金  
額ト致シマシテモ、今後第一封鎖預  
金、第二封鎖預金トナリマシテ、其ノ  
特殊預金ノ一部分方例ノ第二補償封鎖  
預金トナリマシテ、法人ニ於テハ五萬  
圓デゴザイマスカ、五萬圓ノ第一封鎖  
預金ニソレフ替ヘル、サウシテソレヲ  
マア自由ノ條件ノ下ニ於テ使フト云フ  
コトニナリマシタ場合ニ、先日御話ニ  
ナリマシタヤウニ、此ノ第二封鎖預金  
ハ其ノ金額ニ對シテ納稅ノ爲ニハ動力  
コストガ出來ルト云フ御話デゴザイマ  
シタガ、只今ノヤウナ交付金ノ場合  
ニ、ソレガ今日デハ納稅ノ金額トシテ  
決定サレマシタコトハ、申渡サレテ居  
ルダケデアリマスルケレドモ、實際ニ  
納稅ヲスル場合ニハドウカ、此ノ今日  
マダ處置サレテ居リマセヌ所ノ此ノ特  
殊預金ガ、第一封鎖預金、第二封鎖預  
金ト處置サレマシテ、サウシテ第二封  
鎖預金デ處置出來ルヤウナ風ニ、ソレ  
迄ニ納稅ヲ支拂フ迄ニ、サウシテ戴ケ

レバ大變結構ナル、モウ一ツゴザイ  
マスノデスガ、第三ハ是ハ建物疎開ノ  
場合デゴザイマス、是ハ一度私金融  
緊急措置令ノ委員會チ政府ノ方ニ御尋  
お致シマシタノデスガ、其ノ時政府ノ  
方ノ御答辯ト實際トガ違ツテ居リマス  
ノデ、モウ一度甚ダ恐縮デゴザイマス  
ルガ質問ヲ致シタインデゴザイマス  
ガ、建物疎開ニ依リマシテ特殊預金ガ  
生ダルノデアリマスガ、ソレハ今度六月  
四日ノ指令デ、其ノ特殊預金カラ一萬  
圓ダケヲ封鎖預金トシテ取扱フコトガ  
出來ル、從ヒマシテ從來拂戻解除ヲ受  
ケテ居リマシタ所ノ生活資金、特殊預  
金カラ生活資金ト云フモノガ世帯ノ一  
人宛百圓宛出スコトガ出來テ居リマシ  
タノガ、六月四日ノ指令ニ依リマシテ  
七月カラ生活資金ガ出ナクナツタノデ  
ゴザイマス、處ガ其ノ點ニ付キマシテ  
金融緊急措置令ノ場合ニ政府委員ニ御  
尋ネ致シマシタ處ガ、ソレハ此ノ六月  
四日ノ指令ニ依ツテ一萬圓ダケヲ其處  
カラ抜キ取ツテ、拂戻解除ヲ受ケマシ  
テ、封鎖預金トシテ拂戻ノ解除ヲ受ケ  
尋ネ致シマシタ處ガ、ソレハ此ノ六月  
マシテ、サウシテ其處カラ從来一人直  
圓ノ生活資金ヲ渡シテ居リマシタ其ノ  
生活資金ヲ、自由ニ出スコトガ出來ル  
ンダ、サウ云フ御話デゴザイマシタ  
ガ、實際銀行チ取扱ツテ居リマスル場  
合ハ、生活資金ノ爲ニ其ノ一萬圓カ  
ラ拂戻解除ヲ受ケルト云フコトハ出來  
ナイ、サウ云フ條件ハナイ、サウ云フ  
取扱ニナツツテ居リマスノデスガ、此ノ  
點政府委員ノ御方ノ御答辯ト今日銀行  
チ取扱ツテ居リマスル實際ノ取扱トガ  
違ツテ居リマスノデゴザイマス、ソレ  
ハドウ云フノデゴザイマセウカ、此ノ  
三ツノ點ニ付キマシテ……

ハツキリ私ニ香達メナインデザイマスカ、  
スガ、交付金ト申シマスト、會社ノ解散  
餘財産ノ分配トシテノ交付金デゴザイマスカラ、  
マスカ、或ハ會社ガ他ノ會社ノ解散  
依ツテ受ケタ拂戻金デゴザイマスカ、  
其ノ拂ガハツキリ致シマセヌノデ、  
結論ガ變ツテ參リマスカラ、解散デ  
付金ヲ受ケタト云フノハ、誰が交付  
ヲ受ケタノカ、此ノ點ヲ先ツハツキ  
シテ戴イタ方ガ宜シウゴザイマス  
○子爵藤井兼親君 其ノ持ツテ居リ  
スル會社ヲ經營シテ居リマス者ガ經  
シテ居リマス會社ノ解散ノ場合、企  
業整備ニ依リマス解散テス、企業整備  
解散ハ何時頃行ハレマシタカ  
ト云フコトニナツテ居リマス、サツ  
企業整備ヲ抜カシタカモ知レマセス  
○政府委員(池田勇人君) 其ノ會社  
キリシテ居リマセヌデスガ……

○政府委員(池田勇人君) ソレニ依  
テ餘程遠ツテ参リマス、會社ノ解散  
ズット以前ナラバ看做配當トシテサリ  
云フ場合ニ課税シテ居リマシタ、個々  
ニ綜合課稅致シテ居リマシタガ、昨年  
カラ殘餘財産ノ分配ノ時ニハ個人ニ  
合課稅ヲシナイコトニ相成リマシタ  
ラ、昨年以後ノ解散ニ付キマシテ、  
ノ十萬圓ノ所得ニ尙加ヘテ餘餘財產  
分配二十萬圓合セテ課稅スルト云フ  
トハゴザイマセヌ、ソレカラ特殊預  
ニ付テノ第二ノ御質問モハツキリ受  
レナイノデゴザイマスガ、恐れ入リ  
スガモウ一回御述ヲ願ヒマス  
○子爵藤井兼親君 今ノ御話ノ昨年  
ラノ會社ノ解散ノ場合ノ交付金ハ、  
合所得トシテ課稅ラヘナイト云フ御  
デゴザイマスカラ、從ツテ第二ノ場

モ解消シタ譯アリマス、第二ノ場合  
ハスウ云フ積リデアツタノデアリマ  
ス、サウ云フ交付金ハ假令課税サレマ  
シテモ、今度特種預金ガ封鎖預金ニ變  
リマスガ、其ノ封鎖預金ノ方ニ五萬圓  
ト云ノモノヲ除イタ残餘ノ分ハ、第ニ  
封鎖預金トシテ被金ニ出スト云フヨリ  
ハ出來ルト云フ御前デアツタノミシタ  
ガ、事實支拂ハナケレバナツヌ時期  
ニ其ノ御處置ガニ、ト云フノハ今ノ  
御話デア昨年カラハサウ云フヨリハ  
綜合所得トシテ課稅シテ居ナイト云フ  
御話デザイマシタガ、私ノ御處置シテ  
マシタノハ、ソレカ課稅サレテ其ヲマ  
拂フベキモノトシテ吉ウテ來ラレタ  
ラ、サウ云フ場合ニハ第二封鎖預金ニ  
處置ガ出來ルヤウニ、サウ云フ處置ヲ  
成ルベク早クシテ敷イア、特殊預金ニ  
稅ガカ、ルト云フ時ニ、税トシテ拂フ  
金額ヲドウニモ勤カスロトカ出來ナイ  
ト云フヤウニナリマセヌヤウニ處置ヲ  
願ヘレバ結構ダトゾノデアリマス  
○政府委員(池田勇人君) 御話ノ點  
ハ、法人ニ付キマシテハ問題ガザイマ  
マス、法人ニ付キマシテ、壓縮記帳ア  
テ居ナイ場合、諸リ商品ガ焼ケテ特殊  
預金ヲ費ツタ場合ノ課稅ニ付キマシテ  
ハ、相當問題ガアリマスノデ、我々ハ  
只今經濟界、財界整理ノ問題トシテ研  
究致シテ居リマスガ、個人ノ場合ニハ  
ゴザイマセヌ、第一ノ點ハソレテ解消  
致シマシタガ、第三ノ點ハ私ノ所管ア  
ゴザイマセヌノデ、所管ノ政府委員アリマ  
スレバ午後一時三十分ヨリ、又ゴザイ  
リマシテ、明日御答辯シテモ宜シトイ  
思ヒマス

○ ○ ○ ○ ○	マセヌケレバ、午前十時ヨリ本委員會 イマシタ場合ハドウデゴザイマスカ ○委員長(男爵周布兼道君) 本會議ガ 午後ニ續クカモ知レマセヌガ、兎ニ角 サウ云コトニ致シテ醒キタイト思ヒ マス、木日ハ是ニテ散會致シマス
午後三時四十五分散會	
出席者左ノ如シ	
委員長 男爵周布 兼道君	
副委員長 子爵綾小路 謙君	
委員	
侯爵西郷吉之助君	
伯爵奥平 昌恭君	
子爵富小路鏡直君	
子爵藤井 駿顕君	
子爵梅溪 通虎君	
中田 磯君	
男爵松平外興麿君	
男爵岡 俊二君	
男爵水谷川忠麿君	
男爵長 基連君	
黒田 英雄君	
松尾 國松君	
小山 完吾君	
塩田 圓平君	
長島 銀藏君	
徳山 昂平君	
井川 忠雄君	
子爵七條 光明君	
名取 和作君	
國務大臣	
内務大臣 大村 清一君	
大蔵大臣 石橋 漢山君	
政府委員	
内務事務官 萩田 保君	

同 大藏事務官 池田 勇人君  
前尾榮三郎君